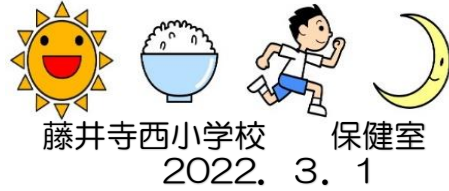


ほけんだより3月



3月は、学年のしめくくりの月です。この一年はどんな一年でしたか？泣いたり、笑ったり、怒ったり。そんな一年も残りわずかです。たくさんの経験をしたみなさんは、今の学年になったばかりの4月より、ここからだもぐんと成長しているはず。一年の区切りに、「この一年間よくがんばったね。」と自分自身をほめてあげてください。そして、気持ちを新たに、次の学年を迎える心の準備をしましょう！



3月9日はThank youの日

3月9日は「さん」と「きゅう」で「サンキュー」＝「ありがとう」の日です。

「照れてしまうよ。」とか、「いちいち言わなくても伝わるでしょ。」とか・・・そんな理由から、言えないという人も多いかもしれませんね。また、家族の中では何かをしてもらっても、当たり前のように思っているかもしれません。

サンキューの日はいつもより少し意識して友達や家族、学校・習い事の先生など、みなさんの周りにはいる大切な人たちに「ありがとう」を言ってみませんか？言葉にすると笑顔も増えることに気がつくかもしれません。

～「ありがとう」を習慣に～

3月3日は



どうして「耳の日」になったのでしょうか。
 ・3（ミ）と3（ミ）で「ミミ（耳）の日」だから
 ・3が人間の耳の形に似ているから。

★耳には2つの役割があります。



ふだん、休むことなく働いている耳のことを考え、大切にしましょう。

なんのマークか、知っていますか？

このマークは「耳が聞こえにくい・聞こえない」ことを知らせるマークで、「聞こえが不自由なので、配慮してください」とお願いするマークでもあります。病院などの窓口に「お手伝いします」という意味で掲げられていることもあります。聞こえが不自由なことは、見た目にはわかりません。このため、人に誤解されたり、



危険な目にあったり、困ることや不安なことがたくさんあります。

このマークを見せられたら、ゆっくり話したり、筆談をしたりして、コミュニケーションをとるよう協力しましょう。簡単な手話なら、覚えておけるといいですね。



つながりは、やさしいことばで

今まであたりまえにできていたことができなくなったとき、「ああ、大切だったんだなー」って感じることはありませんか？

この1年はコロナでできなかったことがたくさんありました。学校でみんなと会えなかったり、距離をいつも開けていなくちゃいけなかったり。そんな中で「つながる」ことの大切さを感じていたように思います。

直接会えなくても、くっつけなくても、つながることができるのは、私たちに「ことば」があるからです。だからことばはやさしく、あったかいものにしたいですね。

次の学年でも、みんながやさしいことばとともに過ごせますように。With コロナの今だからこそ。

保護者のみなさまへ

早いもので1年が過ぎようとしています。毎年感じることですが、子どもたちのエネルギーは大きく、成長のスピードはとても速いです。

学校という場所で、子どもたちと同じ時間を過ごすことができることに幸せを感じながら1年間、保健室で子どもたちのことを見守っていました。

1年間「ほけんだより」を読んでいただきありがとうございました。これからもどうぞよろしくお祈りします。

養護教諭 井川祥子

1年を振り返って

自分で自分をほめてあげよう！

年生の間に
がんばったことは

[Blank box for writing]

です。

よくがんばったね！

あれ？ もう1年終わりがあ...

もうすぐ、学期末。この1年はなんだかとても早かったなと感じませんか？



「出来事の多さが時間の感覚を変える」と言われています。遠足や運動会など、イベントがたくさんあると長く感じ、毎日同じことの繰り返しだとあっという間に過ぎたと感じるそうです。

今年はコロナの影響で縮小・中止になってしまった行事も多かったので「早かったな」と感じるのかもしれませんが...



まだまだウイルスとの戦いは続きそうですが、新しい学年は充実した1年になりますように。春休みの間に、元気をたくわえておいてくださいね。

この時期は
この場所が最高！ K・Shinbo



耳にいい言葉 中村誠

